

## 善行の条件

アッラーが人の行いを認めるのはどんな時ですか。正しい行いとしてアッラーに受け入れられる条件は何ですか。

アッラーに讃えあれ。

崇拝の行為は完全な愛と完全な謙遜の両方が不可欠である。アッラー曰く（意味の解釈）：

「だが信仰する者たちは、（何にもまして）アッラーを激しく愛する」

[雌牛章 2:165]

「本当に主を恐れおののく者」

[信者たち章 23:57]

アッラーは二つのことをアヤの中で述べている（意味の解釈）：

「本当にかれらはお互いに競って善行に勤しみ、また希望と畏れを持って、われに祈っていた。」 [預言者章 21:90]

このことを理解すると、崇拝の行為はアッラーだけを愛する（タウヒード）ムスリムによるものだけが受け入れられることがわかる。アッラー曰く（意味の解釈）：

「われはかれらの行ったことの報いが来て、それを塵のように撒き散らすであろう。」 [識別章 25:23]

サヒーヒ・ムスリム

(214)では、アイシャ（アッラーが彼女を好まれんことを）の言葉を伝えている。

「私が『アッラーの御使い様、ジャヒリーヤの時代にイブン・ジュダアンは一族の絆を支え、貧者を養いました。このことはかれのためになるので

さらにムスリムの崇拝は二つの基本的な条件を満たさない限り、受け入れられない。

1-

アッラーに対する意図の誠実さ。すなわち人のすべての言葉と行為における意図が、外的にも内的にも、唯一アッラーだけを喜ばせることを求めなければならない。

2

-アッラーが定めたシャリアに準拠しており、それ以外の方法でアッラーを崇めないことである。それは預言者（かれに平安とアッラーのご加護を）と彼がもたらしたことに従い、それに反することを避け、預言者（かれに平

この二つの条件についての証拠は次のアヤである（意味の解釈）：

「凡そ誰でも、主との会見を請い願う者は、正しい行いをしなさい。かれの主を崇める場合に同位者を配してはならない。」 [洞窟章 18:110]

イブン・カティール（かれのアッラーのご慈悲を）の言葉によると：「主との会見を望むもの」とはアッラーの報奨であり、「正しい行いをしなさい」とはアッラーの法に従うことであり、「かれの主を崇める場合に同位